



**SUNNY SIDE UP
GROUP**

株式会社サニーサイドアップグループ

2025年6月期第3四半期
決算補足説明資料

連結決算ハイライト

- 1.9%增收、過去最高を更新した2023年6月期に次ぐ売上高を達成
- 営業利益は12.0%減、子会社オフィスの拡張移転や採用強化など、成長への戦略投資に伴い販管費が増加
- 予測可能性の向上へ、計画段階で四半期毎の賞与関連費用を平準化、計上額は前年同期より1.3億円増加
- 営業利益進捗率は会社想定通り80%に達し、目標達成へ順調に推移、通期業績予想を据え置く

対前年同期
売上高増加率

+ 1.9%

対前年同期
営業利益増減率

▲12.0% 同一条件比較*
▲3.0%

対前期末
従業員数増加率

+ 3.6% 対前年同期
+ 15.8%

対通期業績予想
営業利益進捗率

80.3% 同一条件比較*
88.5%

通期業績予想

据え置き

(注) *同一条件比較は、賞与関連費用を前年同期と同額（111百万円）として算出しております。

アジェンダ

1. 2025年6月期第3四半期 連結決算の概況
2. 事業状況
3. 中期成長戦略の進捗
4. Appendix

1.

2025年6月期第3四半期 連結決算の概況

連結業績サマリー

- 增收減益、販管費の増加は計画に沿うもの（子会社オフィス移転 74百万円、賞与関連費用平準化 135百万円）
- 営業利益率は前年同期より低下も中間期の8.9%より上昇、PR復調で原価率低減
- 営業利益以下の各段階で進捗率が80%を超過、通期目標に対して順調に推移

(単位：百万円)

	2024年6月期 第3四半期 実績	2025年6月期 第3四半期 実績	対前年同期 増減率	(ご参考) 同一条件 概算値*	2025年6月期 通期業績予想 (期初公表)	進捗率	(ご参考) 同一条件 概算進捗率*
売 上 高	13,663	13,927	+1.9%	—	18,500	75.3%	—
営 業 利 益 (営業利益率)	1,505 (11.0%)	1,324 (9.5%)	▲12.0% (▲1.5pt)	1,460 (10.5%)	1,650 (8.9%)	80.3%	88.5%
経 常 利 益	1,535	1,353	▲11.9%	1,488	1,660	81.5%	89.7%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	959	863	▲9.9%	—	960	90.0%	—
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	64.29円	57.89円	—	—	64.34円	—	—

(注) *同一条件概算値・進捗率は、賞与関連費用を前年同期と同額（111百万円）として算出しております。

従業員賞与関連費用の平準化に伴う四半期業績への影響

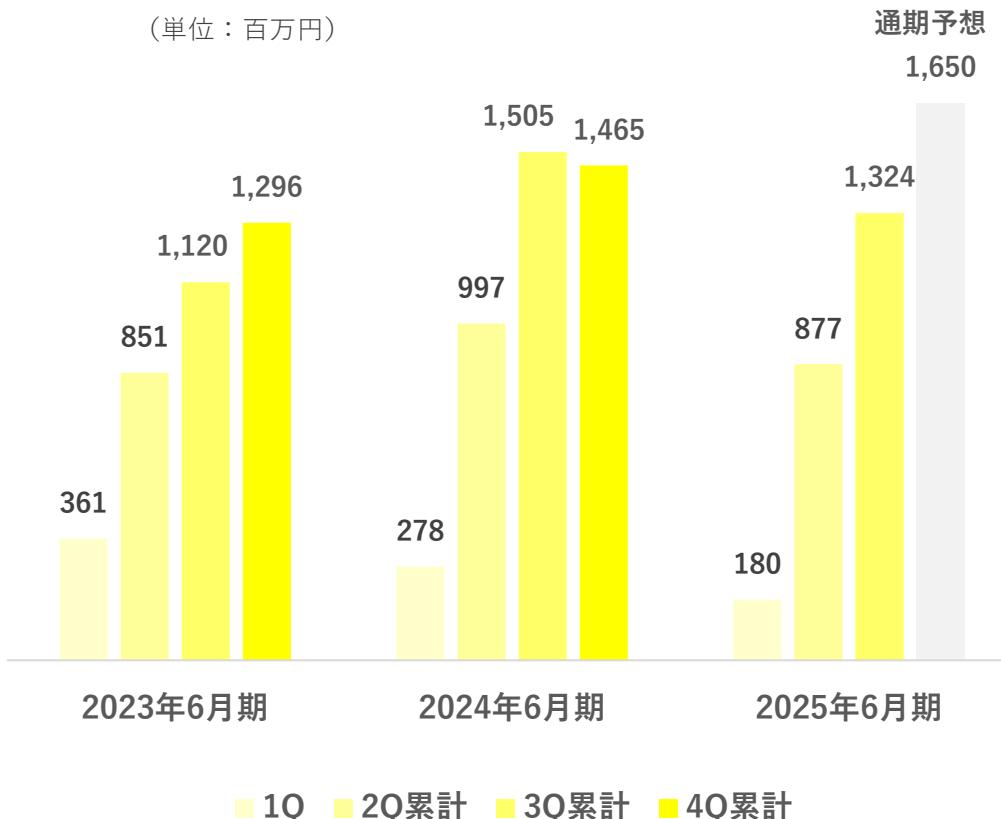
従業員賞与関連費用 (単位:百万円)
(販管費における賞与及び引当金繰入額、賞与に係る法定福利費)



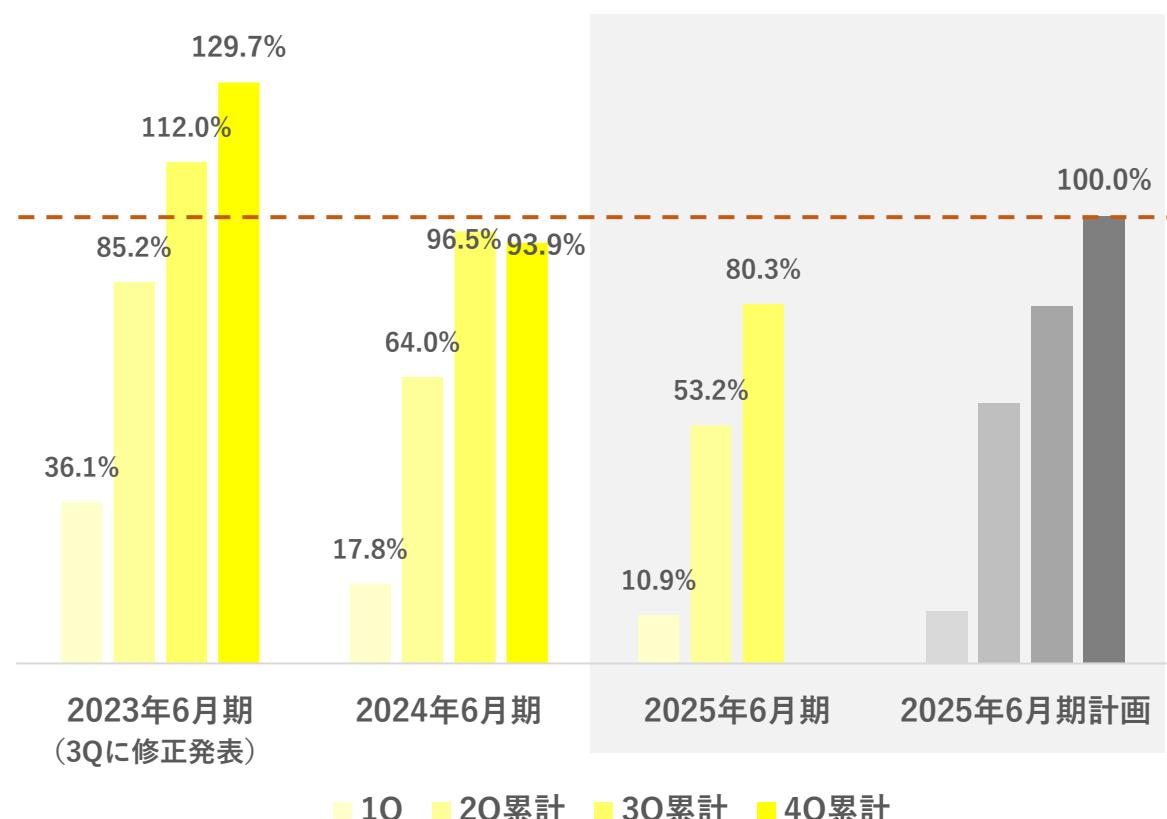
従業員賞与関連費用の平準化に伴う業績進捗への影響

- 過去2期の営業利益は第3四半期累計で期初公表予想を超過／達成付近で推移
- 当期の進捗率は過去2期より低いものの想定通り進捗、通期目標を達成して二桁増益を目指す

営業利益額の推移



期初公表予想に対する営業利益進捗率



セグメント別業績

- ブランドコミュニケーション事業が増収寄与、フードブランディング事業も増収維持
減収となったビジネスディベロップメント事業では1社の主力事業転換が影響
- 増収の2事業が減益、ブランドコミュニケーション事業では賞与関連費用の影響が大きく、前年同期と
同一条件下では小幅減益にとどめる

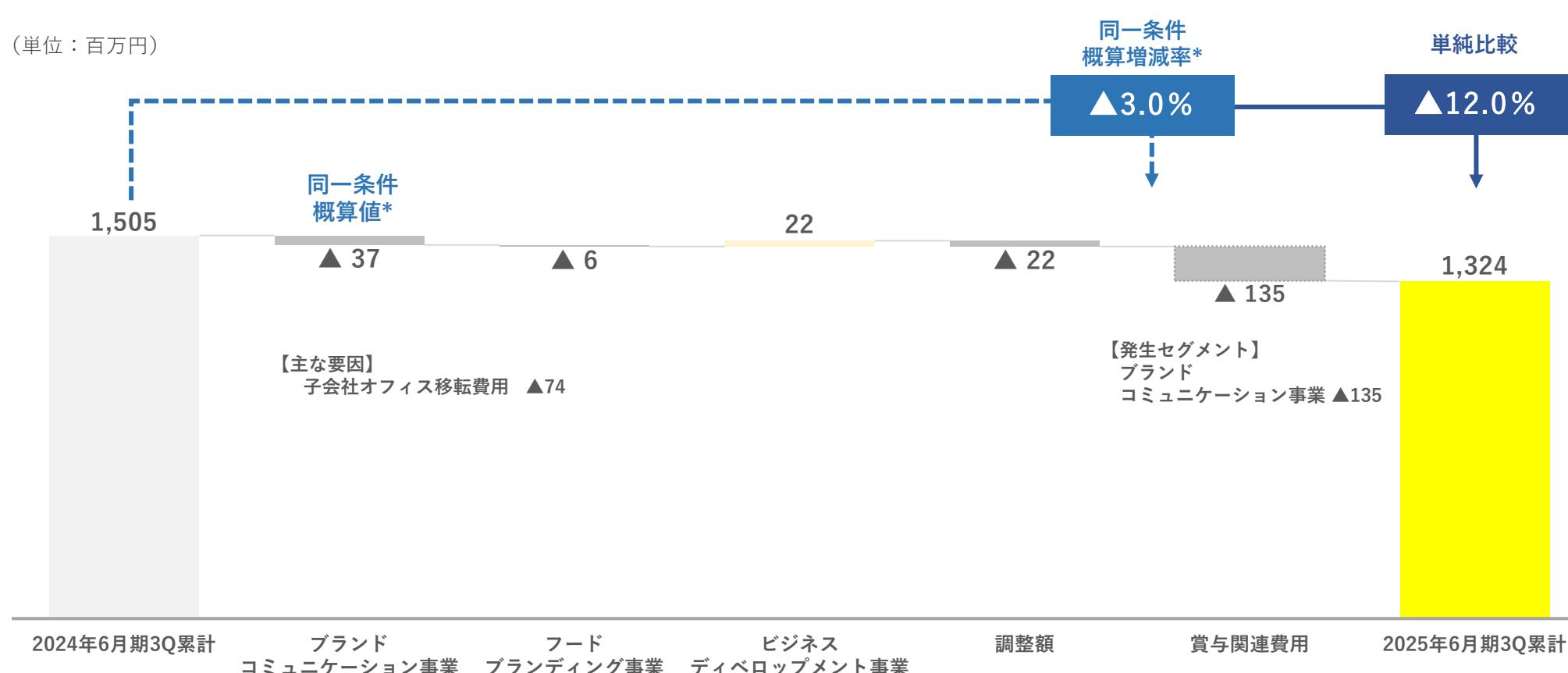
(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益 (営業利益率)			
	2024年 6月期 第3四半期	2025年 6月期 第3四半期	対前年 同期 増減率	2024年 6月期 第3四半期	2025年 6月期 第3四半期	対前年 同期 増減率	(ご参考) 同一条件 概算値*
ブランド コミュニケーション事業	11,113	11,436	+ 2.9%	2,223 (20.0%)	2,049 (17.9%)	▲7.8% (▲2.1pt)	2,185 (19.1%)
フード ブランディング事業	2,416	2,450	+ 1.4%	78 (3.3%)	72 (2.9%)	▲8.5% (▲0.3pt)	72
ビジネス ディベロップメント事業	133	40	▲69.6%	▲2	20 (50.2%)	—	20
調整額（全社費用ほか）	—	—	—	▲795	▲817	—	▲817

(注) *同一条件概算値は、賞与関連費用を前年同期と同額（111百万円）として算出しております。

営業利益変動要因

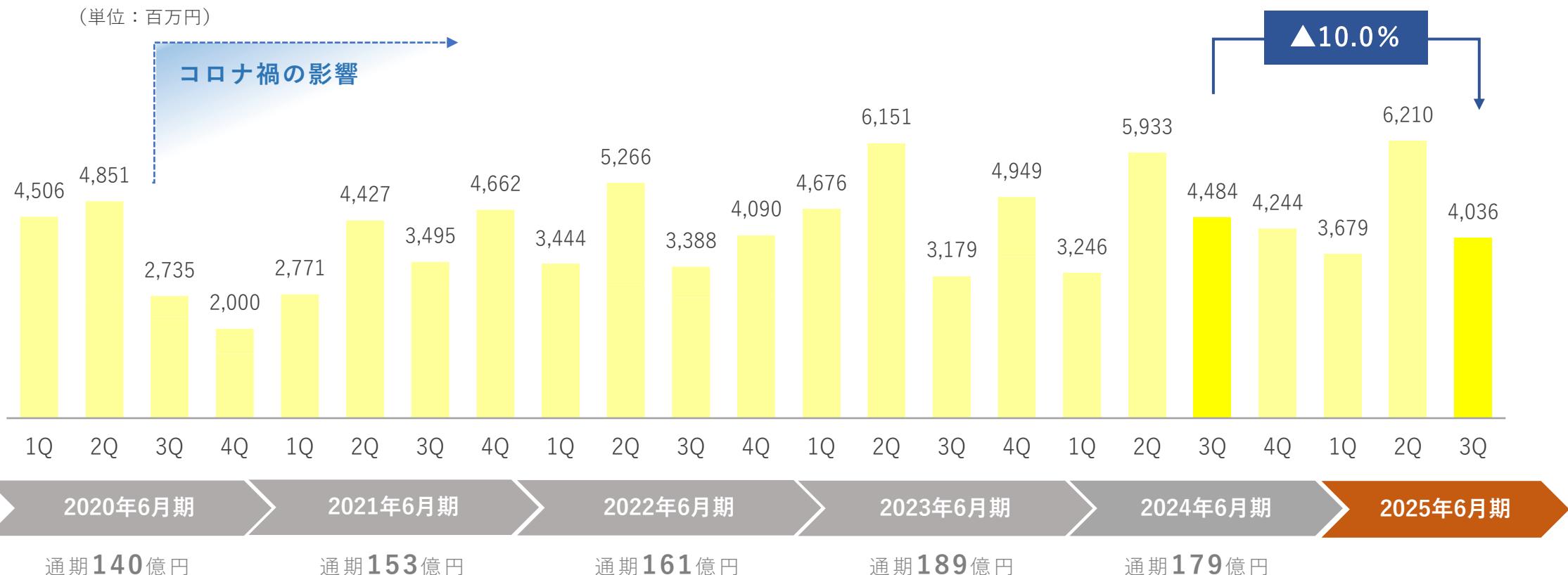
- 賞与関連費用の影響を除く同一条件下では3.0%減益
- 主力のブランドコミュニケーション事業では子会社オフィス拡張移転の影響残るも、利益改善が継続



(注) *同一条件概算値・増減率は、賞与関連費用を前年同期と同額（111百万円）として算出しております。

四半期別売上高推移

- 第3四半期は一転減収、ブランドコミュニケーション事業の売上を下支えしてきた販売施策・商品企画で大型企画が前年同期より減少

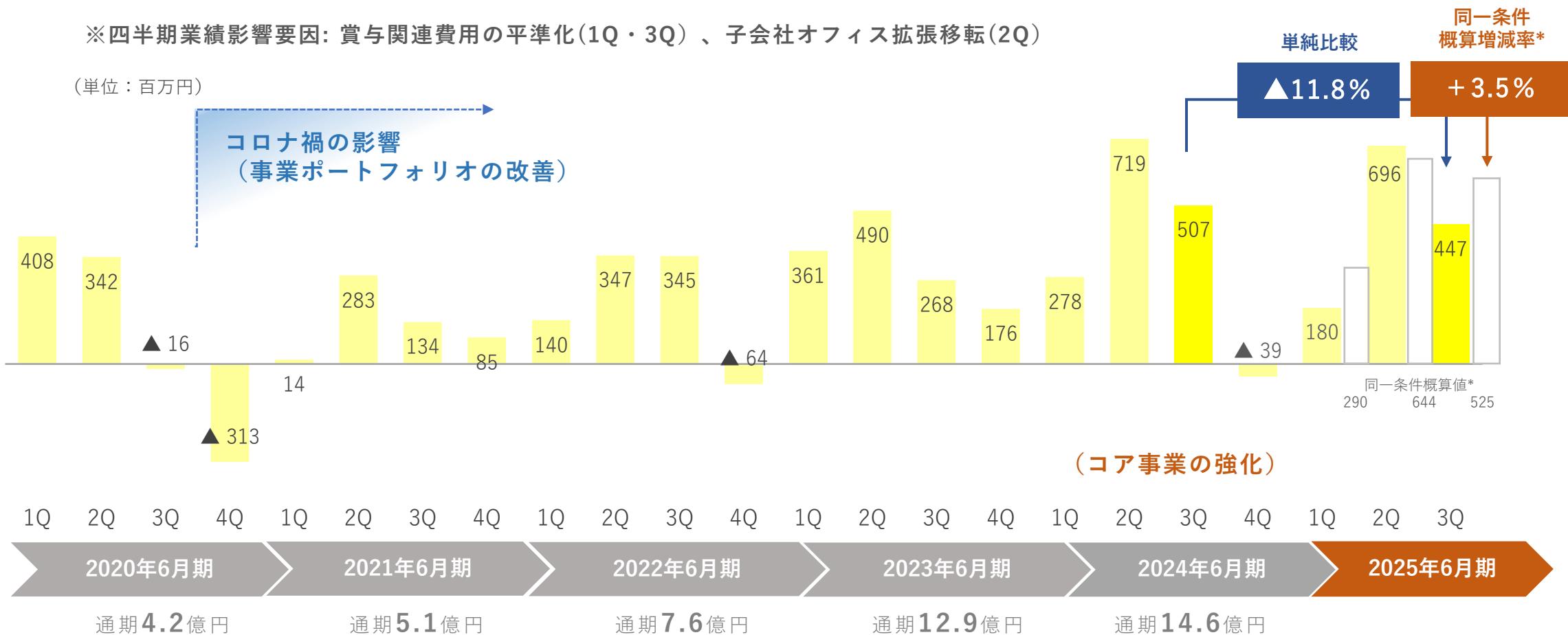


(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

四半期別営業利益推移

- 利益水準は2024年6月期より上昇、主力のブランドコミュニケーション事業の改善が寄与
- 直近では減益続くも、第3四半期は同一条件下で増益 (1Q + 4.6%、2Q▲10.4%、3Q + 3.5%)

※四半期業績影響要因: 賞与関連費用の平準化(1Q・3Q)、子会社オフィス拡張移転(2Q)



(注) *同一条件概算値・増減率は、賞与関連費用を前年同期と同額として算出しております。

連結財務諸表

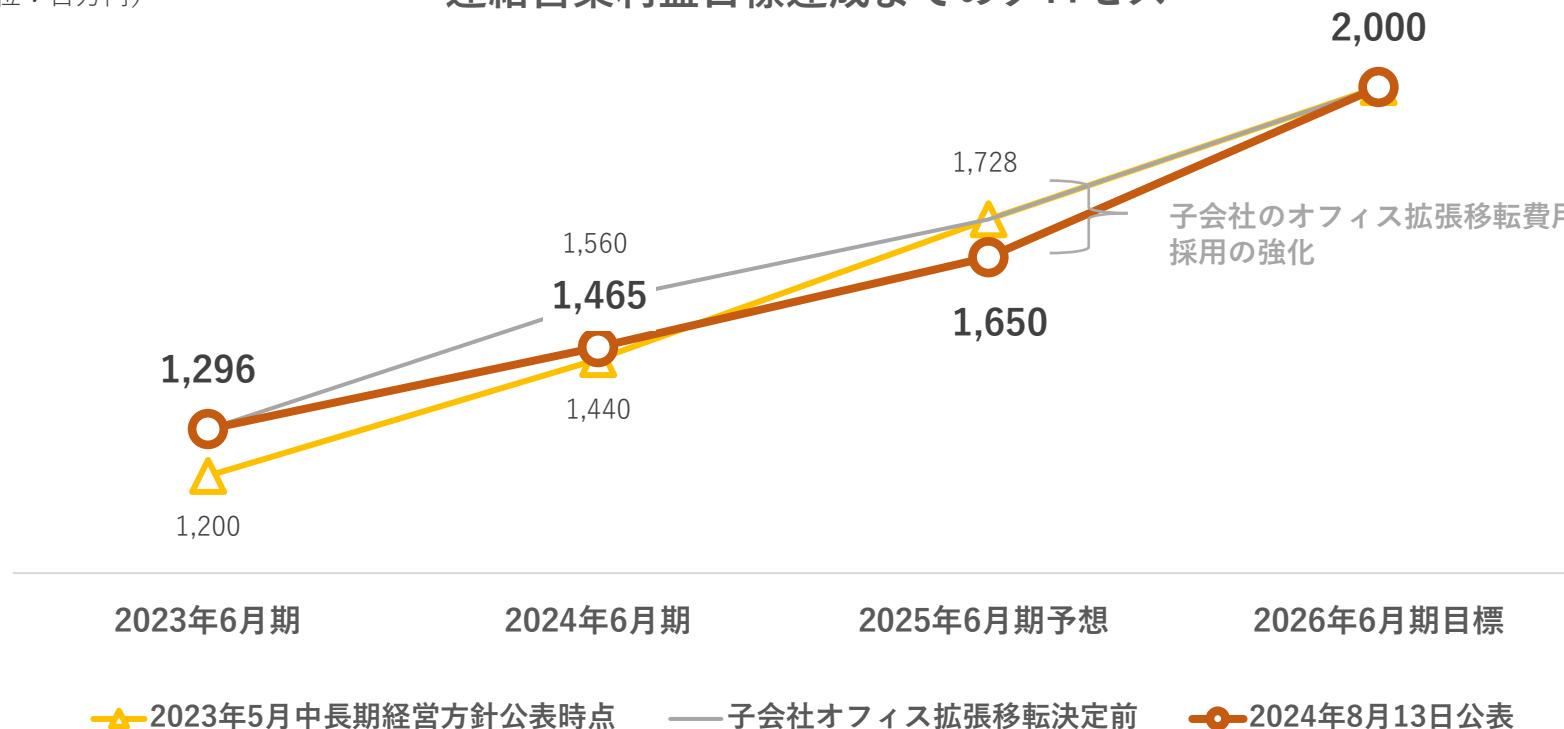
	2024年3月末		2024年6月末		2025年3月末		
	百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	構成比	前期末差異
流動資産	6,504	79.7%	6,549	77.3%	7,360	79.4%	+810
現金及び預金	3,398	41.6%	3,185	37.6%	3,697	39.9%	+512
売掛金	2,360	28.9%	2,494	29.4%	2,598	28.0%	+104
未成業務支出金	309	3.8%	306	3.6%	491	5.3%	+184
その他の流動資産	435	5.3%	563	6.6%	572	6.2%	+9
固定資産	1,660	20.3%	1,923	22.7%	1,905	20.6%	▲17
資産合計	8,164	100.0%	8,472	100.0%	9,265	100.0%	+793
負債合計	3,866	47.4%	4,336	51.2%	4,589	49.5%	+252
買掛金	1,741	21.3%	1,515	17.9%	2,450	26.4%	+934
有利子負債	696	8.5%	991	11.7%	796	8.6%	▲194
その他の負債	1,428	17.5%	1,829	21.6%	1,341	14.5%	▲487
純資産合計	4,298	52.6%	4,136	48.8%	4,676	50.5%	+540
資産・負債合計	8,164	100.0%	8,472	100.0%	9,265	100.0%	+793

2026年6月期連結営業利益目標達成へのプロセス

- 当初、2025年6月期営業利益予想として、2023年5月の中長期経営方針公表時に想定した17.2億円を検討
- ブランドコミュニケーション事業の安定成長を図るため、(株)ステディスタディを次の成長牽引役と位置付け
同社オフィスの拡張移転と採用強化に係る費用を見込み、16.5億円を予想

(単位：百万円)

連結営業利益目標達成までのプロセス



2025年6月期 通期業績予想

- 第3四半期末時点で営業利益以下の各段階利益は想定通りに進捗、期初公表予想を据え置き
- 第4四半期に特筆すべき費用は見込みます
子会社オフィス拡張移転の影響は低下、賞与関連費用は業績進捗を基に計上するも前年同期より減少見込む

(単位：百万円)

	2024年6月期		2025年6月期 業績予想		対前年同期 増減率
	4Q実績	通期実績	達成条件-4Q	通期業績予想	
売 上 高	4,244	17,908	4,572	18,500	+3.3%
営 業 利 益 (営 業 利 益 率)	▲39	1,465 (8.2%)	325	1,650 (8.9%)	+12.6% (+0.7pt)
経 常 利 益	▲33	1,501	306	1,660	+10.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	▲163	795	96	960	+20.7%
1株当たり当期純利益	—	53.30円	—	64.34円	—
1株当たり年間配当金 (中 間 配 当 金)	—	20円 (5)	—	22円 (7)	—

(ご参考) 2025年6月期
営業利益予想
子会社オフィス移転
影響前

1,728

2.

事業状況

当社グループの事業概要

- 2つの事業とグループの事業領域を拡充する新規事業の3事業で構成
 - ブランドコミュニケーション事業： PR戦略策定・施策立案、販促施策・商品企画の立案・支援を担当
 - フードプランディング事業： オールディダイニング「bills」の国内のプランディング、韓国展開
 - ビジネスディベロップメント事業： マーケティング戦略支援、社会課題解決支援のコンサルティング

報告セグメント

ブランド コミュニケーション事業



steady study

フードプランディング 事業



ビジネス ディベロップメント事業



- 企業・団体等の活動や商品・サービスの価値を広く伝える
コミュニケーションサービスを提供
- タレント、キャラクター等のIPを活用した販促施策、商品キャンペーン
の企画等を手掛ける
(2023年9月の(株)サニーサイドアップを存続会社とする子会社3社間の
吸収合併完了に伴い、セグメント変更)
- 2020年3月に(株)ステディスタディを子会社化、(株)サニーサイドアップに
次ぐ成長牽引役に育成するため、採用強化とオフィス拡張移転を実施

- オールディダイニング「bills」の国内のプランディング、韓国における
ライセンス管理と店舗運営を担う (直営店舗：国内7、韓国2)
- (株)TKG Consulting (2024年10月1日付で(株)サニーサイドエックスより
商号変更) は主力事業をコンサルティングへ転換

ブランドコミュニケーション事業 業績推移

- 販促施策・商品企画では人気キャラクター等のIPコンテンツを活用した施策が寄与し、4四半期連続で増収続くも、前年同期より大型案件が減少した第3四半期は減収となる
- PRではアップセルやグループ共同提案等の重点施策が奏功、4四半期ぶりに増収に転じる



(注) 旧区分のマーケティング&コミュニケーション事業をPR、セールスアクティベーション事業を販促施策・商品企画として表示しております。

ブランドコミュニケーション事業 四半期別売上高

(単位：百万円)

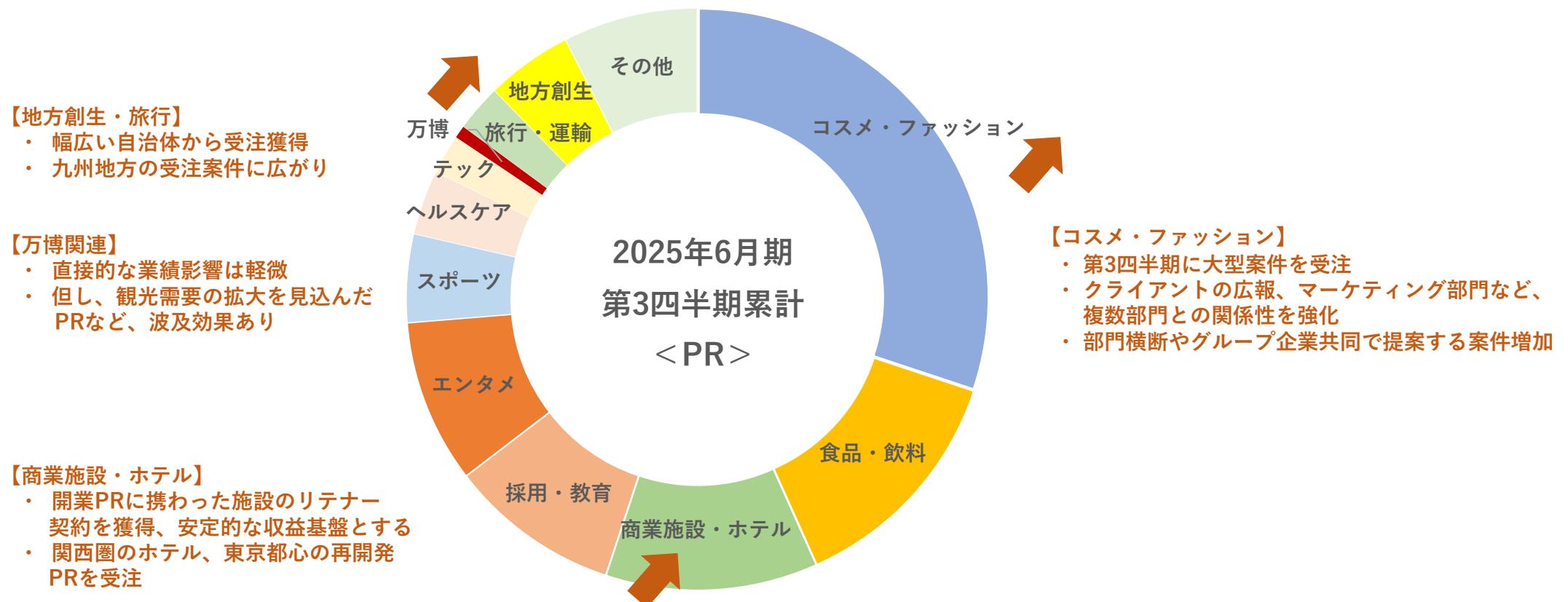
	2022年6月期				2023年6月期				2024年6月期				2025年6月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高（四半期別）															
PR	1,485	2,211	2,052	1,994	1,562	2,198	1,884	2,562	1,707	2,249	2,360	1,945	1,534	2,167	2,431
販促施策・商品企画	1,227	2,285	687	1,289	2,316	3,114	405	1,341	653	2,834	1,308	1,388	1,301	3,198	803
計	2,713	4,496	2,740	3,283	3,878	5,313	2,290	3,904	2,360	5,083	3,669	3,333	2,835	5,365	3,235
売上高（累計）															
PR	1,485	3,697	5,750	7,744	1,562	3,760	5,645	8,207	1,707	3,956	6,317	8,263	1,534	3,702	6,133
販促施策・商品企画	1,227	3,512	4,200	5,489	2,316	5,431	5,836	7,178	653	3,487	4,796	6,184	1,301	4,499	5,302
計	2,713	7,210	9,950	13,234	3,878	9,191	11,481	15,385	2,360	7,444	11,113	14,447	2,835	8,201	11,436

(注) 1. 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

2. 旧区分のマーケティング＆コミュニケーション事業をPR、セールスアクティベーション事業を販促施策・商品企画として表示しております。

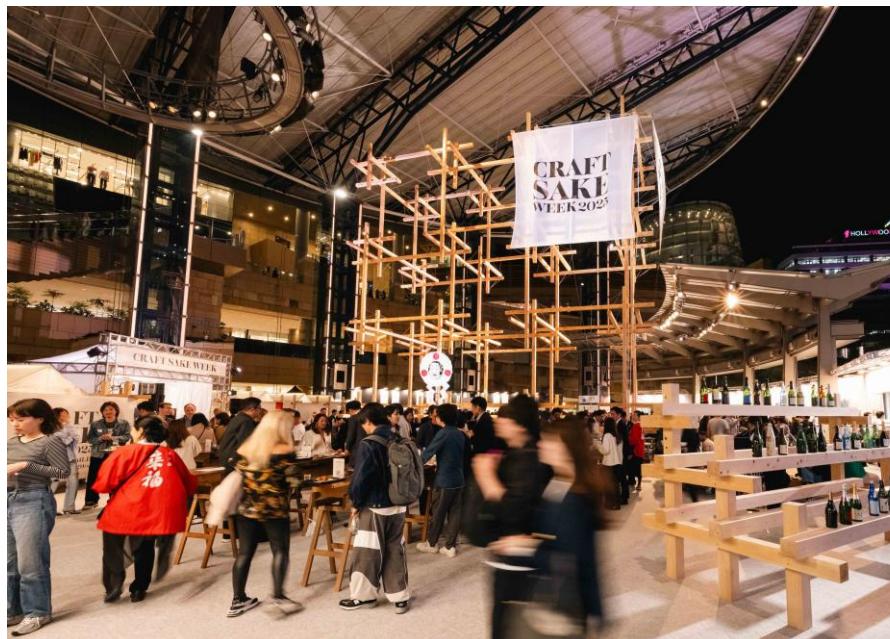
ブランドコミュニケーション事業 業種別売上構成

- 多種多様な業種に対応、コスメ・ファッショング、食品・飲料、商業施設・ホテルのPR支援に強み
- 商業施設・ホテルでは、開業PRに携わった施設のリテナー契約獲得を基盤として、東京都心の再開発や大阪・関西万博開幕を控えた関西圏のホテル開業など、新たなPR受注を獲得
- 2023年8月に組織した「地方創生ユニット」を中心に地方創生案件に注力、九州地方ほか幅広い自治体から受注



ブランドコミュニケーション事業 PR支援事例【食品・飲料】

- 2025年4月に東京都港区で開催された日本食文化の祭典「CRAFT SAKE WEEK」のPRを支援
- 執行役員中田英寿が代表を務めるJAPAN CRAFT SAKE COMPANYが2016年より開催
東京のほか、地方都市でも開催し、延べ100万人以上が来場、本年は120の酒蔵が集結するなか、
名門レストランの限定メニューの提供や日本文化「棟上げ」をテーマとした空間デザインなど、
世界、日本全国を旅して知見を深めた中田英寿ならではの視点が加わっている
- なお、同執行役員は特定領域に限らず、客観的な見地から経営全般へ助言を行う



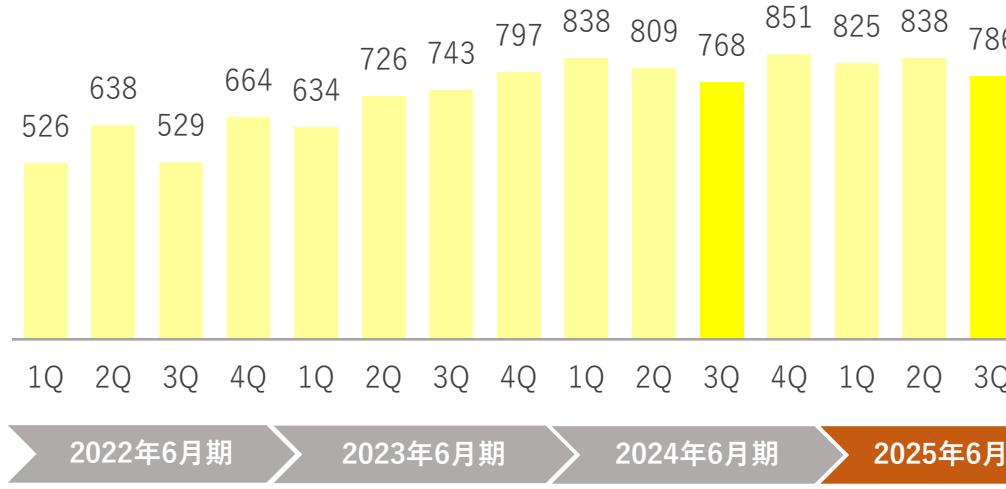
フードブランディング事業 業績推移

- 売上伸長が継続、銀座店・大阪店でインバウンド需要好調、七里ヶ浜店・表参道店は改装効果で客数増加
- 客単価は高水準を維持、年2回のメニュー改編やディナータイムの提案が奏功
- 累計ではブランド価値維持に向けた店舗メンテナンス費用が影響したものの、第3四半期は増益確保

売上高

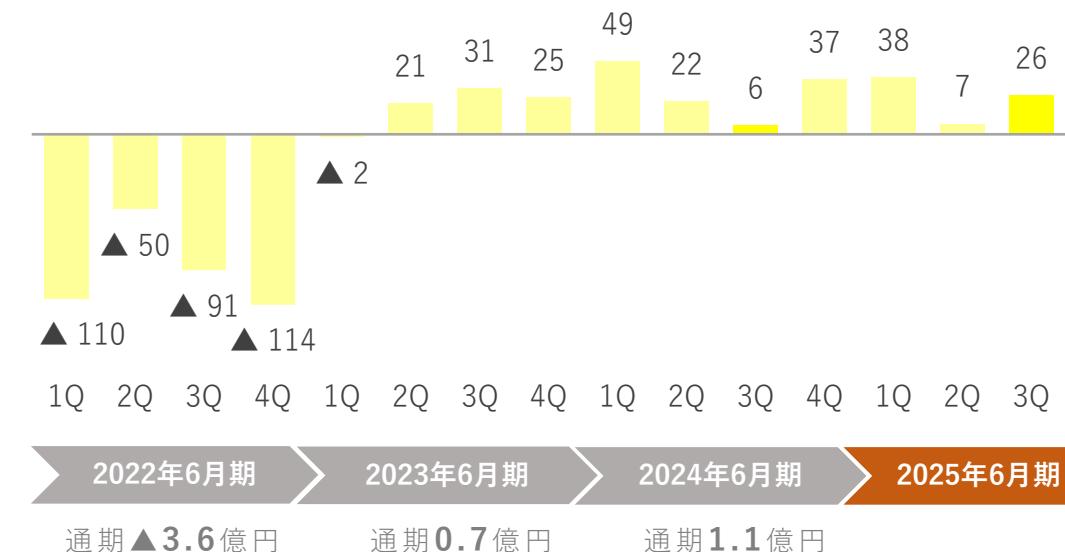
3Q 786 百万円／累計 2,450 百万円

(単位：百万円)



営業利益

3Q 26 百万円／累計 72 百万円



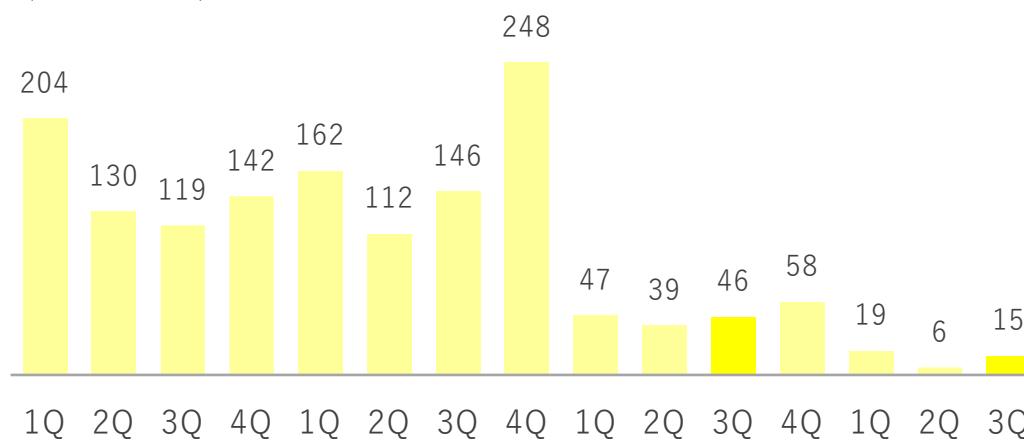
ビジネスディベロップメント事業 業績推移

- 新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充、2024年10月に子会社1社の主力事業を転換 主力事業と連携したマーケティング戦略支援や社会課題解決に向けたコンサルティング事業を展開
- 1社の主力事業転換に伴い減収となるも、前年のXR事業の費用なく黒字継続

売上高

3Q 15百万円／累計 40百万円

(単位：百万円)



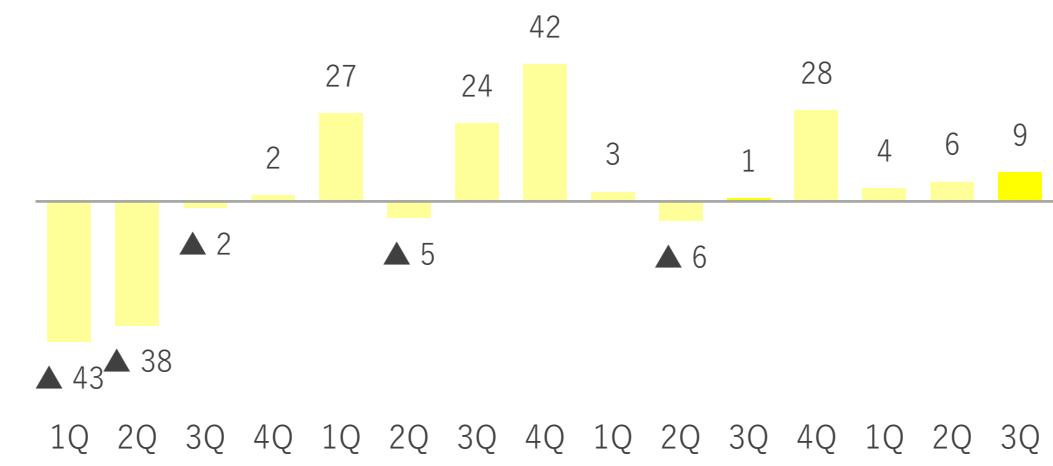
通期 5.9 億円

通期 6.6 億円

通期 1.9 億円

営業利益

3Q 9百万円／累計 20百万円



通期 ▲ 0.8 億円

通期 0.8 億円

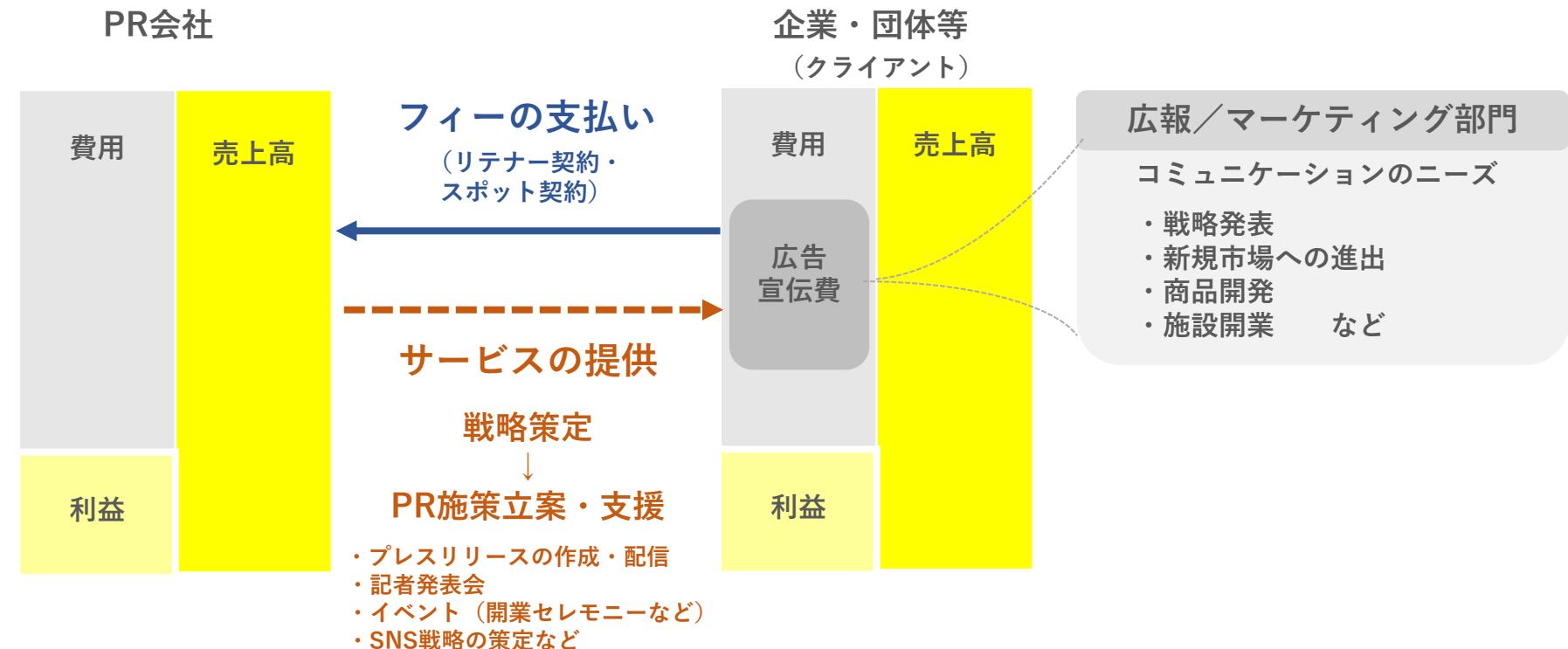
通期 0.2 億円

3.

中期成長戦略の進捗

【従来】PR会社の一般的な収益モデル

- PRとはパブリックリレーションズの略
- PR会社は企業・団体等を取り巻く様々な関係者と良好な関係性を構築するコミュニケーションサービスを提供
- 外部環境の変化や事業活動の活発化を背景に、企業・団体等でコミュニケーションに係るニーズが発生
- PR会社が戦略策定、施策立案・支援を提案・受注、サービス提供後にフィーを受領

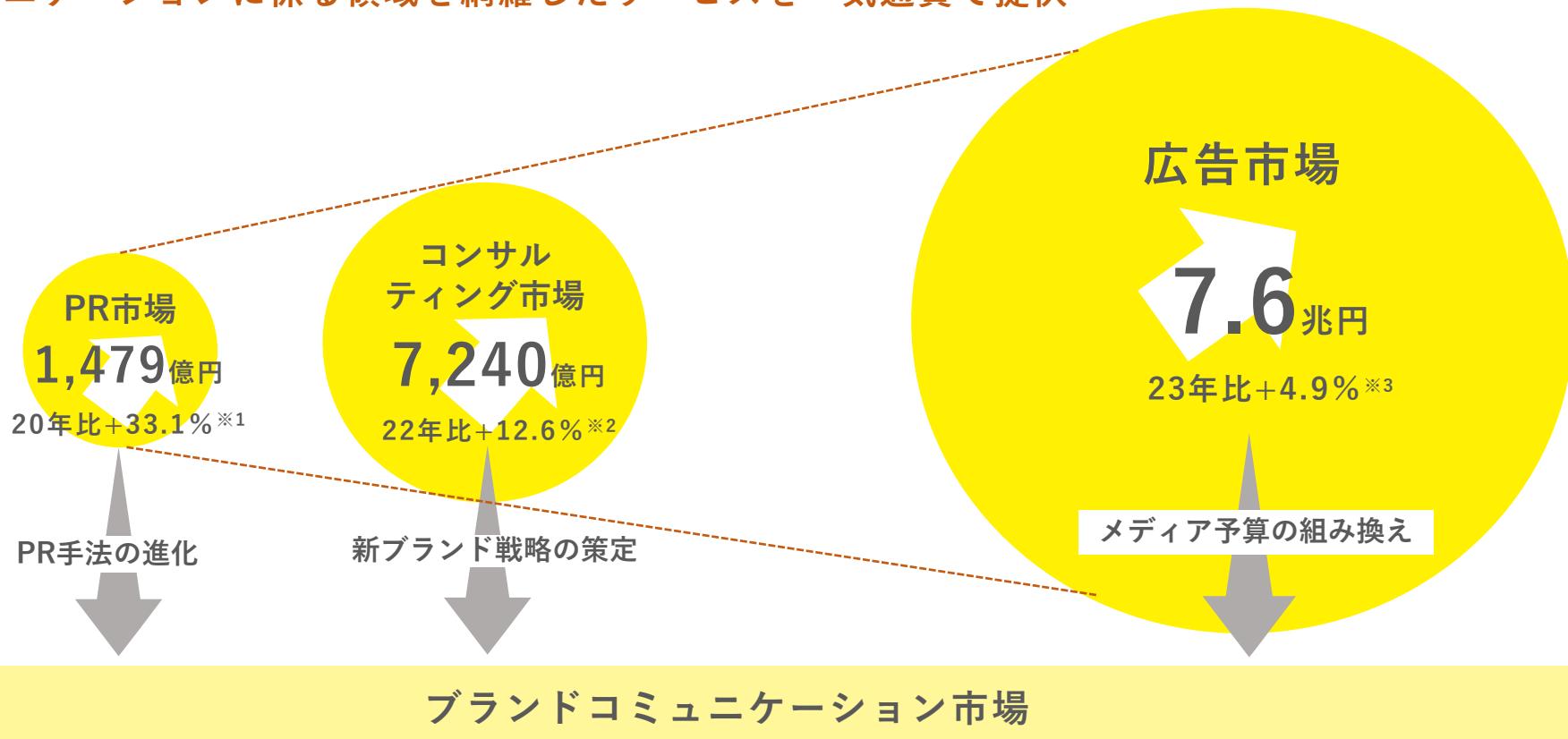


(参考資料) 当社HPにPR会社のビジネスモデルの解説を掲載しております。 <https://navi.funda.jp/quiz/pr-business?ref=ssugir>

中長期の事業成長イメージ

成長に向けた戦略方針

- 価値観が変容するなか、ブランドへの共感重視やメディアの多様化、AI活用など、事業環境が大きく変化
- 従来のPRからコンサルティング、より規模の大きな広告を含むした市場を対象に事業機会を獲得
⇒コミュニケーションに係る領域を網羅したサービスを一気通貫で提供



(参考資料) ※1 22年の推計値 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会「2023年 PR事業調査報告書」<https://prsj.or.jp/2023/05/24/prreport2023/> (2025年5月2日)

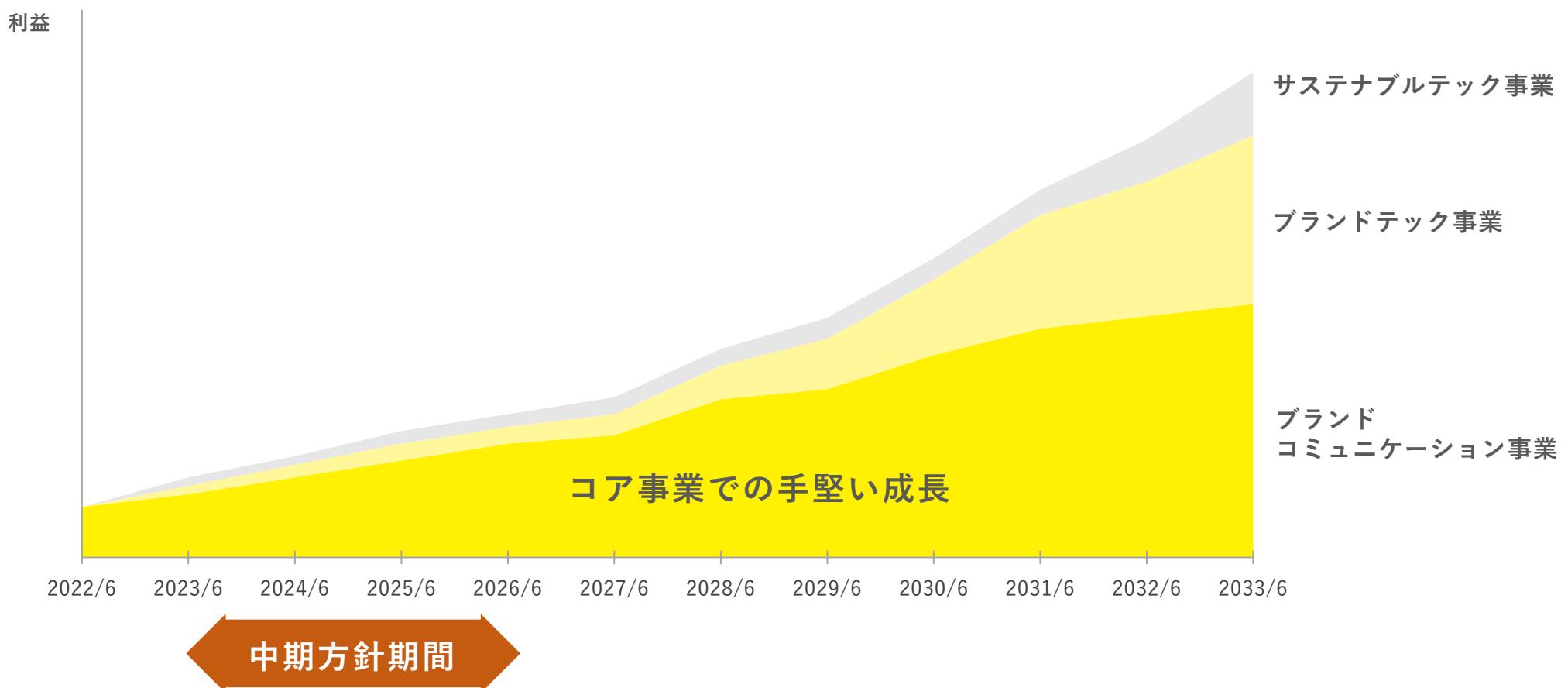
※2 23年の推計値 IDC Japan株式会社「国内ビジネスコンサルティング市場予測、2024年～2028年」<https://my.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ52854324> (2025年5月2日)

※3 24年の推計値 株式会社電通「2024年 日本の広告費」<https://www.dentsu.co.jp/news/item-cms/2025020-0227.pdf> (2025年2月27日)

中長期の事業成長イメージ

成長に向けた戦略方針

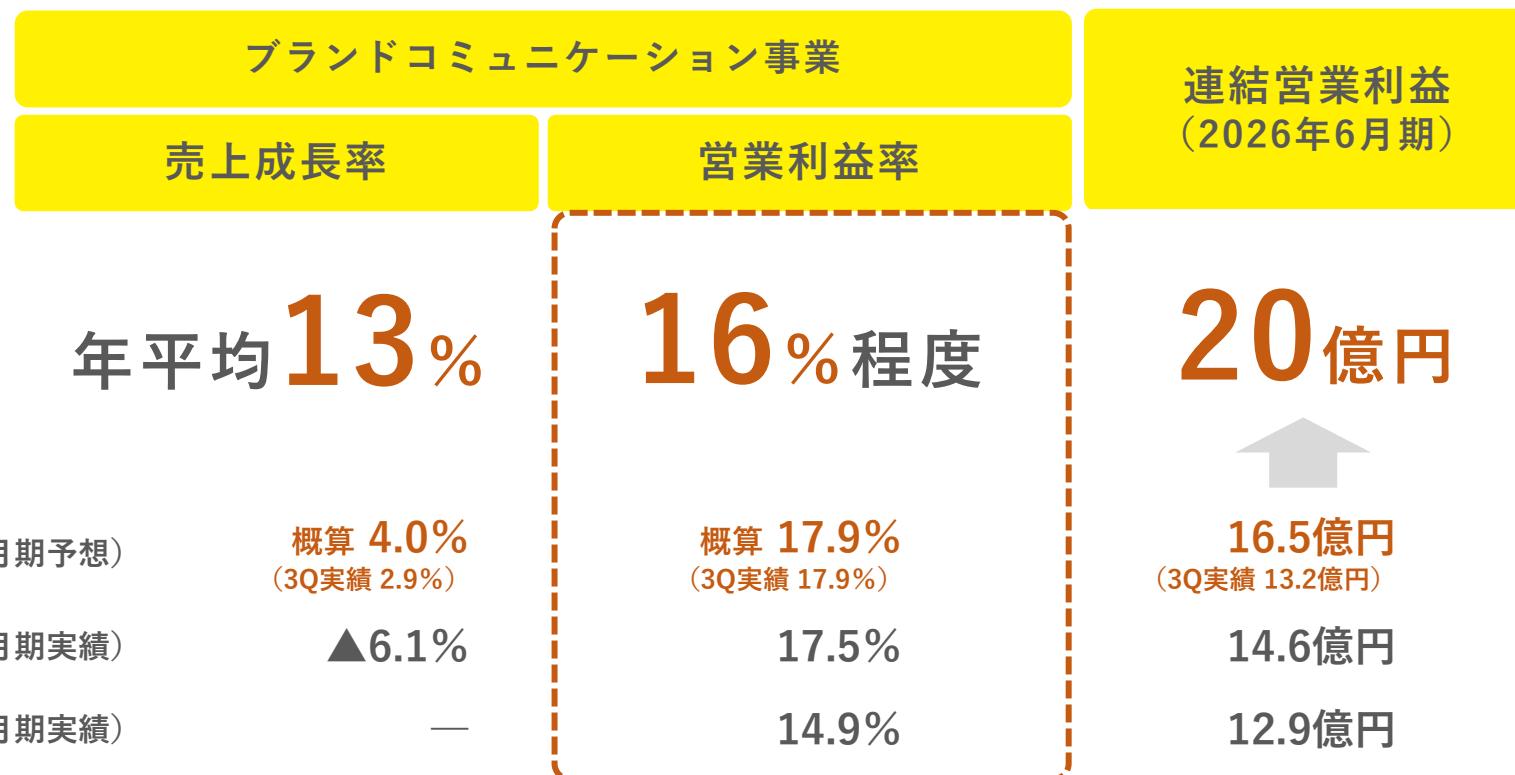
- 現中期方針期間においては、コア事業（ブランドコミュニケーション事業）での手堅い成長に注力
⇒方針期間初年度に同事業での成長に手ごたえ、以降同事業を中心に成長を加速



中期3か年成長ターゲット

成長に向けた戦略方針

- 2026年6月期の連結営業利益目標を20億円に設定
- ブランドコミュニケーション事業で、売上成長と収益性向上の双方を狙う
- フードブランディング事業は、安定的に業績を維持・改善する方針
⇒ブランドコミュニケーション事業では第3四半期にPR売上が復調、営業利益率は想定水準に到達



クライアントとの関係性とサービスの方向性

成長に向けた戦略方針

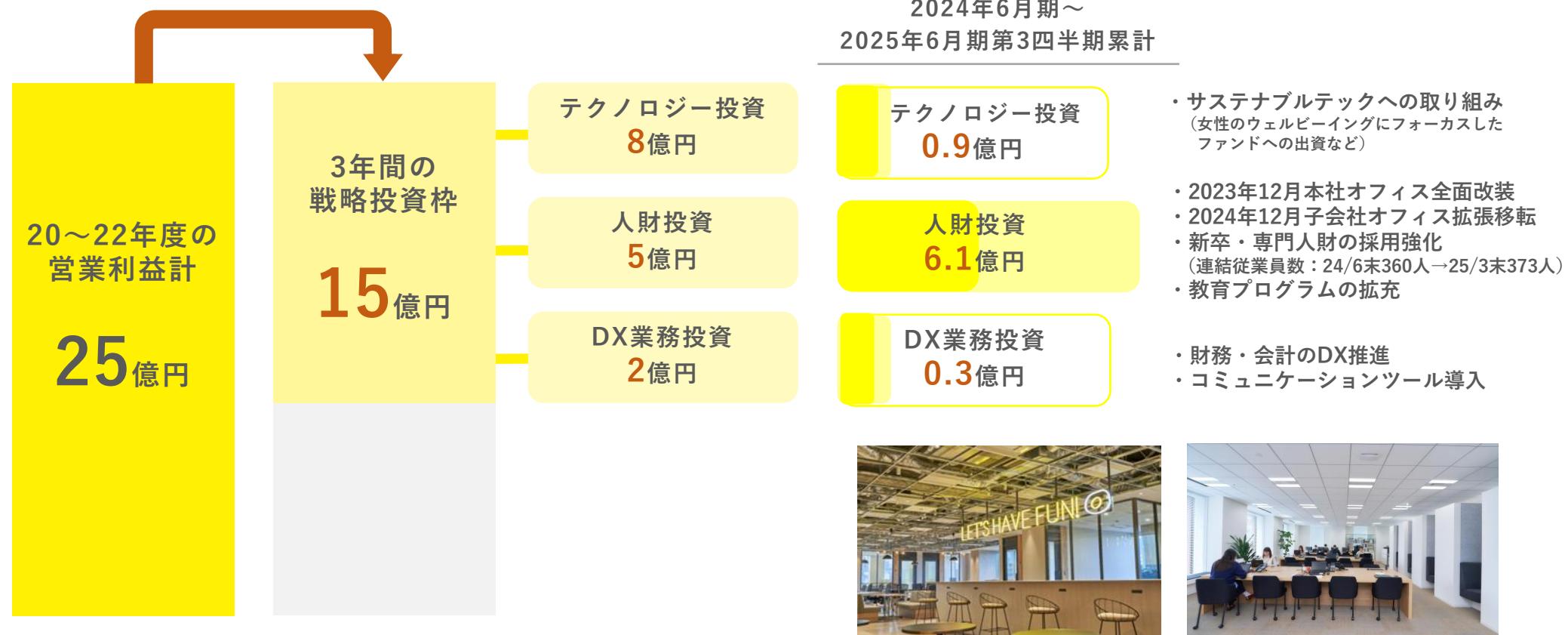
- 主力事業の中核を担う(株)サニーサイドアップは、2023年7月の経営体制変更、同9月の子会社3社間の吸収合併完了を経て、クライアントとの関係性や提供サービスを大きく見直す
- クライアントとの接点を増やすマーケティングイベントは2024年2月・9月に続き、2025年2月にも開催



成長への戦略投資

成長に向けた戦略方針

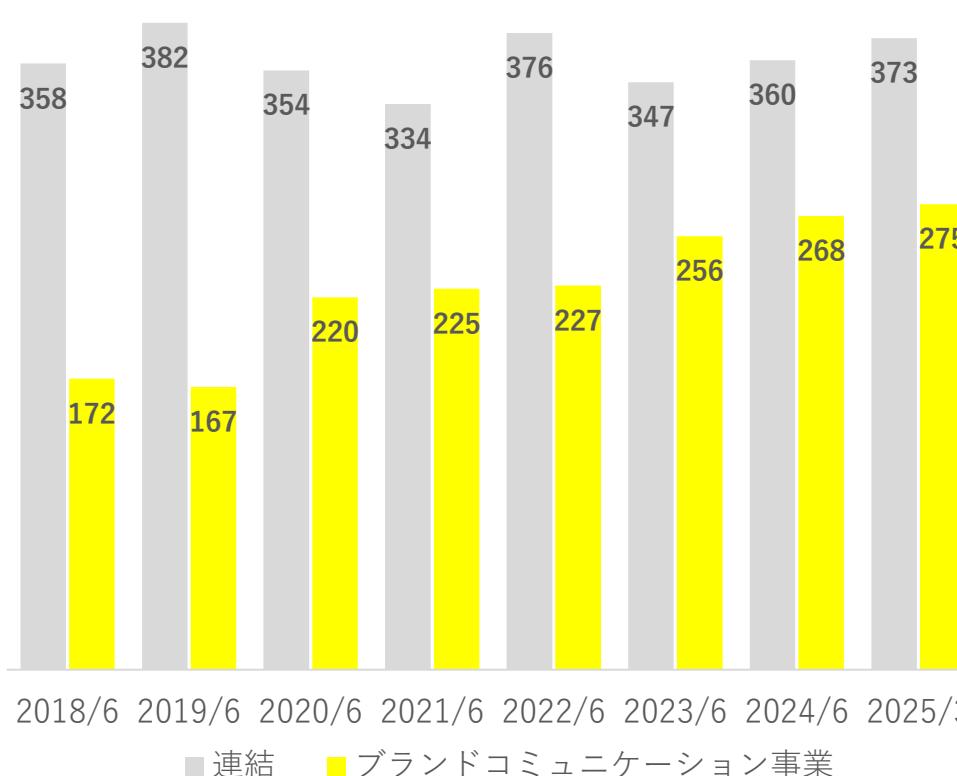
- 2023年6月期までの3年間に創出した営業利益の6割に当たる15億円を戦略投資枠として設定
⇒2025年6月期は人財投資に重点配分、2025年4月入社の新卒採用は過去最高の32人、早期戦力化を図る



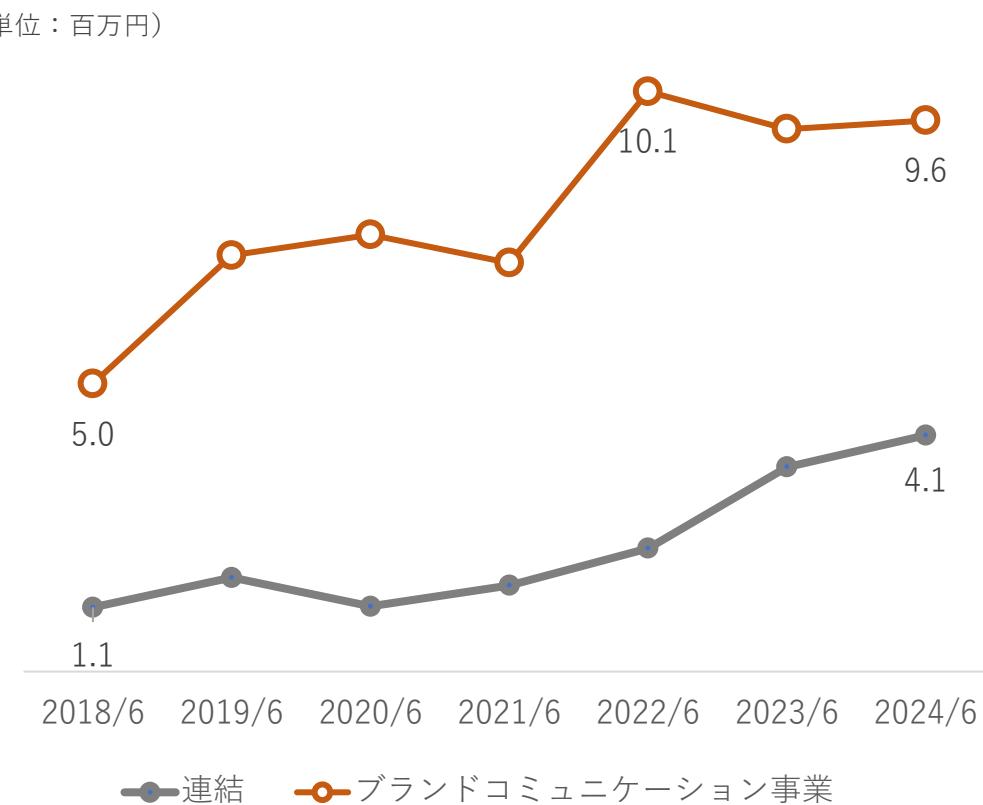
人財投資の加速と生産性の向上

- 事業ポートフォリオの見直しを経て、ブランドコミュニケーション事業を中心に従業員数が増加
- 直近2年は採用先行、若手を中心に営業職移行教育を拡充、主力事業の生産性向上を連結ベースの改善に繋げる

従業員数の推移



1人当たり営業利益の推移



(注) 1人当たり営業利益は期中平均従業員数を基に算出しています。

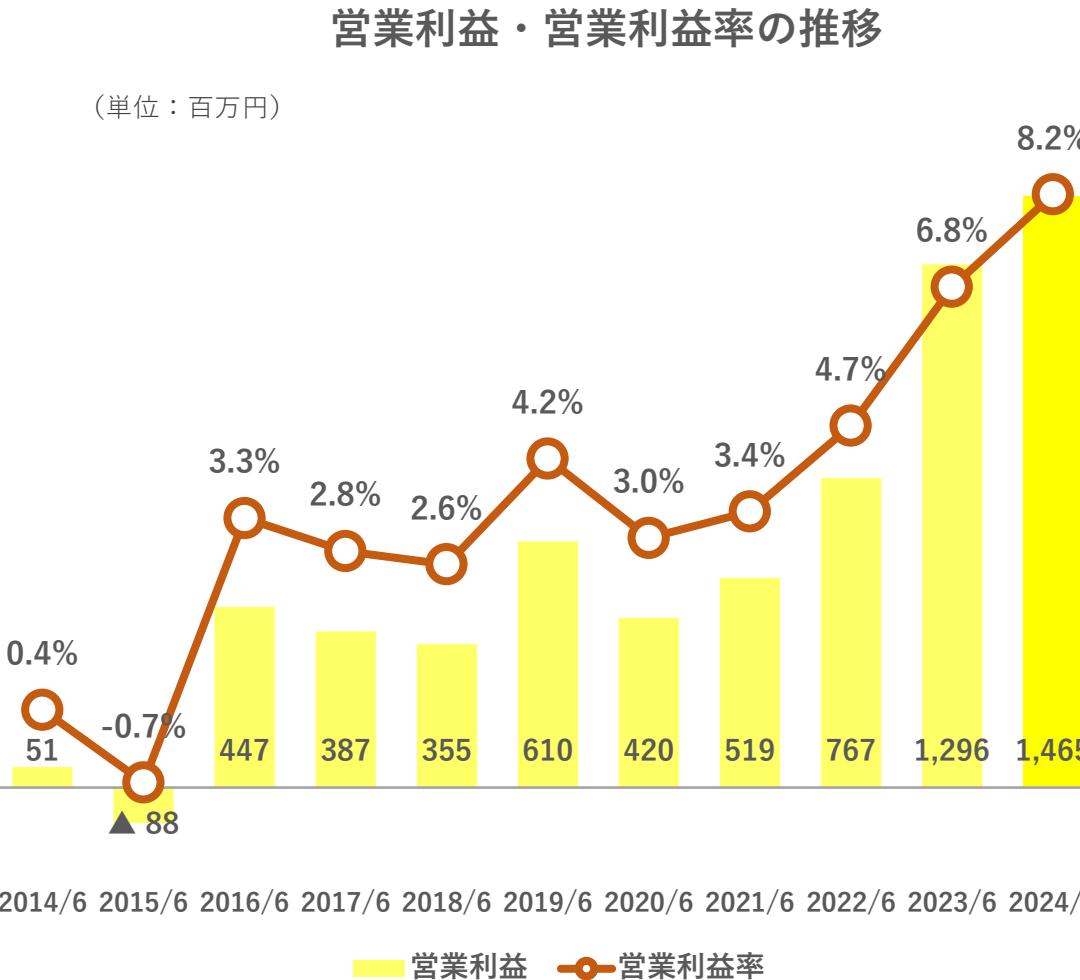
2022年6月期以前のブランドコミュニケーション事業の営業利益は、旧区分を単純合算して算出しております。

4.

Appendix

事業ポートフォリオの改善と営業利益の推移

資本コストと株価を意識
した経営の実現に向けて



事業ポートフォリオの改善実績	
2020年1月	持株会社体制へ移行
2020年3月	(株)ステディスタディを子会社化
2022年6月	SUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INCを清算
2022年7月	bills waikiki LLCの全出資持分を譲渡
2023年5月	中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」策定（コア事業をブランドコミュニケーション事業として再定義）
2023年7月	(株)アジャイルの全株式を譲渡
	(株)スクランブルを (株)サニーサイドアップに吸収合併
2023年9月	(株)ワイスインテグレーションを (株)サニーサイドアップに吸収合併

} ブランド
コミュニケーション事業

} フード
プランディング事業

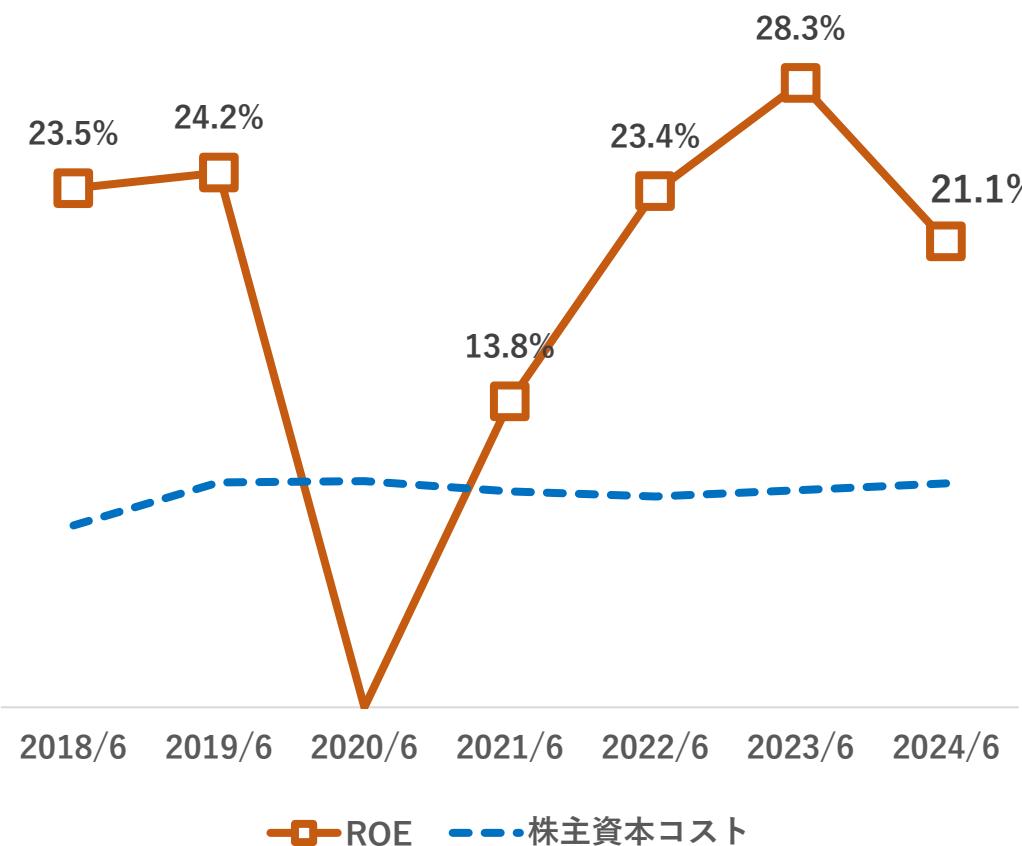
} ビジネス
ディベロップメント事業

} ブランド
コミュニケーション事業

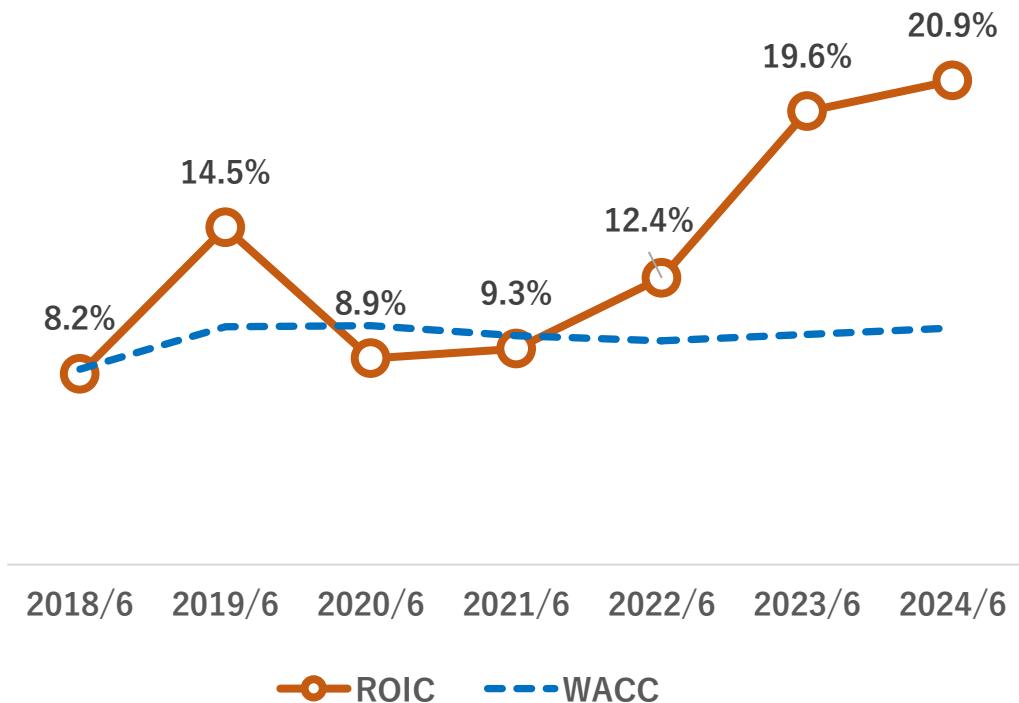
資本収益性と資本コストの比較

資本コストと株価を意識
した経営の実現に向けて

ROEと株主資本コストの推移



ROICとWACCの推移



(注) ROICはNOPAT（営業利益 × (1 - 法定実効税率)）÷ (有利子負債 + 株主資本、期中平均) で算出しております。

11年間の連結業績ハイライト

	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6
業績の状況												
売上高	百万円	12,443	11,940	13,393	13,891	13,537	14,627	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908
営業利益	百万円	51	-88	447	387	355	610	420	519	767	1,296	1,465
経常利益	百万円	153	83	236	494	365	718	275	666	1,284	1,335	1,501
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	-7	-330	-216	304	380	493	-210	298	581	884	795
キャッシュ・フローの状況												
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-377	37	24	352	757	529	549	339	1,185	846	655
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-85	-91	-159	-325	738	-336	-685	-311	-274	-274	-120
フリー・キャッシュ・フロー	百万円	-462	-54	-135	27	1,495	193	-135	27	910	571	535
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	551	-90	212	-92	-794	-338	705	423	-294	-744	-470
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	996	902	1,045	995	1,696	1,559	2,135	2,587	3,214	3,074	3,169
資産の状況												
総資産	百万円	5,613	5,291	5,773	5,706	5,327	5,788	5,462	7,163	7,548	8,595	8,472
純資産	百万円	1,906	1,423	1,402	1,555	1,888	2,397	2,087	2,340	2,820	3,728	4,136
有利子負債	百万円	1,676	1,684	1,833	1,716	1,020	720	1,506	1,915	1,722	1,218	991
設備投資・減価償却の状況												
設備投資額	百万円	416	105	143	291	236	256	28	164	48	141	124
減価償却費	百万円	112	170	149	127	141	161	143	106	94	85	92

(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

11年間の連結業績ハイライト

	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6
株式の状況												
発行済株式総数	株	3,542,400	3,611,200	3,697,600	7,417,200	7,434,400	7,569,800	15,191,600	15,191,600	15,191,600	15,191,600	15,197,600
1株当たり配当金	円	20	10	30	10	10	10	2	6	12	15	20
配当性向	%	-	-	-	24.1%	19.4%	15.2%	-	30.3%	31.1%	25.3%	37.5%
1株当たりの状況							*	*				
1株当たりの当期純利益額	円	-2.18	-93.76	-60.43	41.57	25.85	33.42	-13.97	19.83	38.58	59.28	53.30
1株当たりの純資産額	円	501.30	371.66	343.55	198.20	120.72	153.13	135.17	151.30	178.92	238.78	266.20
経営指標												
営業利益率	%	0.4%	-0.7%	3.3%	2.8%	2.6%	4.2%	3.0%	3.4%	4.7%	6.8%	8.2%
ROE	%	-	-	-	22.4%	23.5%	24.2%	-	13.8%	23.4%	28.3%	21.1%
ROA	%	3.0%	1.5%	4.3%	8.6%	6.6%	12.9%	4.9%	10.6%	17.5%	16.5%	17.6%
自己資本比率	%	31.6%	25.1%	21.8%	25.5%	33.4%	39.7%	37.3%	31.8%	35.7%	41.4%	46.9%
D/Eレシオ	倍	0.9	1.3	1.5	1.2	0.6	0.3	0.7	0.8	0.6	0.3	0.2
従業員の状況												
従業員数	人	186	196	260	273	358	382	354	334	376	347	360
1人当たりの状況（期中平均）							*	*				
1人当たりの売上高	千円	64,977	62,515	58,744	52,127	42,909	39,535	38,299	44,640	45,607	52,439	50,659
1人当たりの営業利益	千円	266	-460	1,962	1,453	1,127	1,648	1,143	1,509	2,163	3,587	4,145

(注) 1. 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

2. 2017年5月30日付で普通株式1株につき2株の割当で株式分割を行っております。

3. 2019年7月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、1株当たりの状況(*)は有価証券報告書に基づきます。

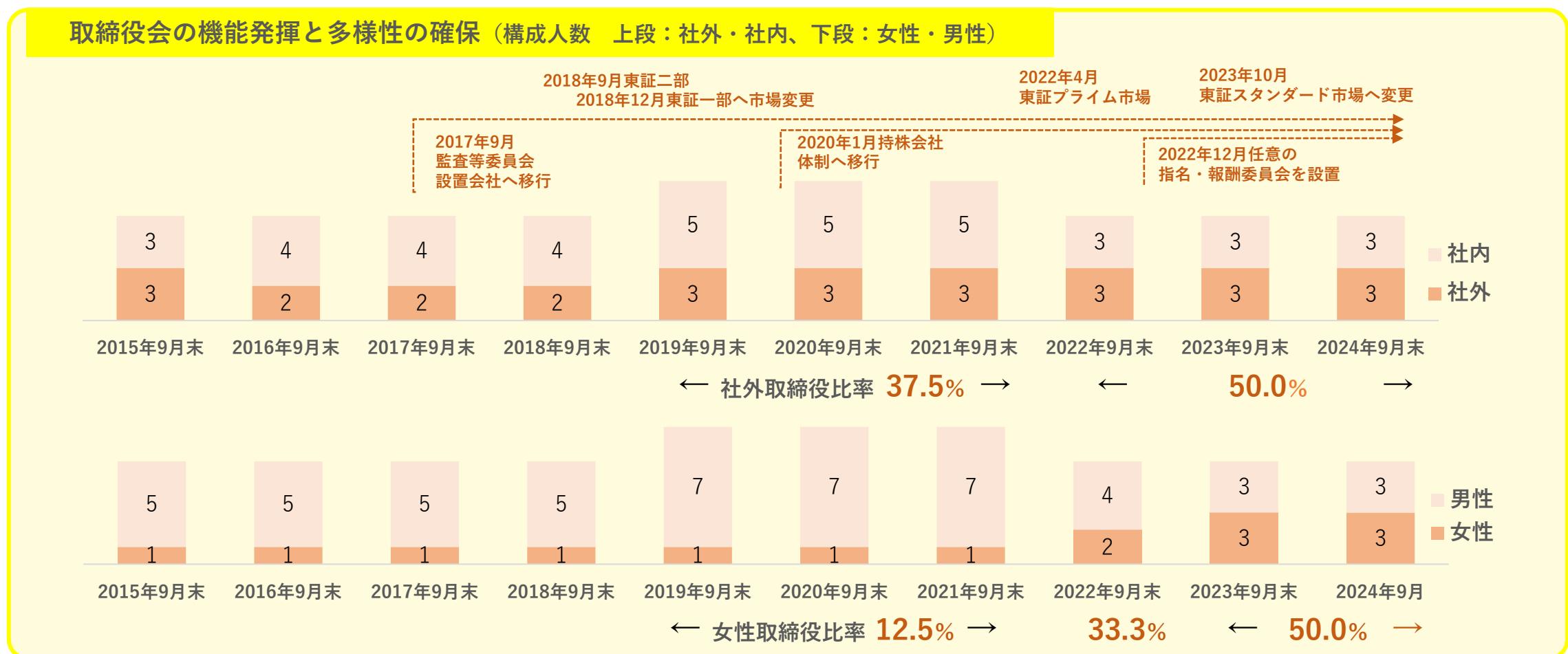
11年間のセグメント別業績

会社名	単位	2014/6 2015/6 2016/6 2017/6 2018/6 2019/6 2020/6 2021/6 2022/6 2023/6 2024/6											
		2020/6までの報告セグメント						過年度遡及		2023/6までの報告セグメント			3事業体制
売上高													
コミュニケーション事業①	百万円	5,081	5,789	5,429	5,715	6,194	7,434	8,158		5,818	9,119	7,744	8,207
スポーツ事業②	百万円	923	804	1,068	1,302	1,278	1,366	1,080					14,447
SP・MD事業③	百万円	3,930	2,313	3,531	2,588	1,451	1,234	1,389	4,984	3,644	5,489	7,178	
bills事業	百万円	2,385	2,930	3,120	4,100	4,421	4,241	3,259	3,259	2,355	2,359	2,901	3,268
開発事業	百万円	121	102	244	184	191	351	205	31	236	596	669	192
計	百万円	12,443	11,940	13,393	13,891	13,537	14,627	14,094	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908
【合計】①+②+③	百万円	9,935	8,907	10,029	9,606	8,924	10,035	10,629	10,803	12,764	13,234	15,385	14,447
セグメント利益													
コミュニケーション事業①	百万円	550	694	666	595	715	996	1,162		968	1,284	1,954	1,917
スポーツ事業②	百万円	76	73	140	172	178	237	288					2,532
SP・MD事業③	百万円	-111	-110	294	34	-150	2	2	514	310	344	380	
bills事業	百万円	-102	-155	28	126	166	66	-210	-210	-293	-366	76	116
開発事業	百万円	136	-72	-71	-25	40	59	-4	-40	110	-82	88	26
調整額	百万円	-499	-516	-611	-515	-594	-753	-817	-810	-892	-1,082	-1,166	-1,209
計	百万円	51	-88	447	387	355	610	420	420	519	767	1,296	1,465
【合計】①+②+③	百万円	516	656	1,101	802	743	1,237	1,452	1,482	1,595	2,299	2,297	2,532

(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

コーポレート・ガバナンス

- ガバナンス強化に向けて、独立社外取締役の比率を高めるとともに、任意の指名・報酬委員会を設置
- 多様性の確保にも取り組み、女性取締役比率は50%に上昇



Make World Better

たのしいさわぎで明日の希望をつくる

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点での入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社サニーサイドアップグループ 経営管理部経営管理グループ

TEL : 03-6894-2241 mail : keiki@ssu.co.jp